

バンコク秋田フェア事前商談会開催



6月6日、10月バンコク伊勢丹を会場に開催される「秋田フェア」への出展商品選定のため、現地輸入業者である(株)ダイショータイランドの幅野修平氏と、フェア会場であるバンコク伊勢丹商品部長の辻基之氏を招聘し、第一会館本館（秋田市）において商談会を開催しました。

8企業から101点の商品が提案され、各商品の特徴や価格について熱心な意見交換が行われました。タイ人の嗜好・購買価格や、フェアでの販売方法などを踏まえた商品選定に加え、両氏から特に提案商品以外の要望が出されるなど、有意義な商談会となりました。

貿易実務講座開催

5月8・9日の二日間にわたり、ジェトロ秋田・当協会の共催で、「貿易実務講座（基礎編・応用編）」が、秋田市にぎわい交流館AUIに於いて開催されました。講師は、昨年に続き、株式会社アースリンクの貿易アドバイザーである橋聡美氏が務められました。

秋田県内で貿易実務に携わる企業や個人の方々、秋田県・秋田市の職員、協会スタッフ等々、多数が受講しました。内容は、「貿易実務の基礎がわかる本」（曾我しのぶ著）をもとにしつつ、貿易取引の流れ、取引条件、売買契約書の締結、インコタームズと輸送・保険、貨物海上保険の付保、貨物の船積み、代金決済、関税の基礎知識、貨物の損傷とクレームなど、多岐にわたりました。書類作成の演習を交えながらわかりやすく実務に即した内容で、聴講者からは大変実り多い講座であったとの感想をいただきました。



ロシア語講座（初級・中級）が始まりました

ズドラーストヴィチェ！（こんにちは！）ロシア極東地域とのマッチングと経済交流促進の一環として、今年も4月11日から「ロシア語講座」が始まりました。同講座には初級（木曜日）・中級（金曜日）の2コースがあり、初級では基本的な日常会話を、中級ではビジネス会話の初歩を学習しております。講師は、当協会の専門アドバイザーのネザムトチノフ・ヴィクトル先生が務めており、ロシア語が全くはじめての方にも熱心に教えてくださいます。とかく難しそうなイメージのあるロシア語ですが、先生によりますと、実は発音も日本語に近く文字数も英語と大差がないため、覚えやすい言語であるとのこと。授業は各級とも週1回90分、半年間で20回、30時間の内容で、現在合わせて14名の方が受講しております。



ロシア語講座初級クラスの様子

一般社団法人
秋田県貿易促進協会

秋田市旭北錦町1番47号
秋田県商工会館5階
電話：018(896)7366
FAX：018(896)7367
Email：info@a-trade.or.jp

協会のホームページも
ぜひご覧ください↓
<http://www.a-trade.or.jp/>

あなたの貿易ビジネスをサポート！



一般社団法人
秋田県貿易促進協会

ATPA

第25号
(H25年度 第1号)
発行日 2013.7



一般社団法人
秋田県貿易促進協会
Akita Trade Promotion Association



NEWS LETTER

中露物流調査・経済交流ミッション

7月7日から12日に秋田商工会議所、秋田港シーアンドレール構想推進協議会による「中露物流調査、経済交流ミッション」が開催されました。一行は、秋田商工会議所三浦副会頭を団長とする20名で、中国吉林省延辺朝鮮族自治州・延吉市からロシア国境の町・琿春市へ国境を越えてロシア側に入り、ハサン地区のトロイツア港〔ザルビノ港〕そしてウラジオストクまでバスによる踏査となりました。中国側は高速道路の整備が完成、ロシア側は未舗装があり一部工事中も通行はほぼ問題のない状況でした。ザルビノ港(写真)は、コンテナでの輸出入も可能ですがローロー船で日本車の輸入に使われております。ウラジオストク商業港はコンテナ貨物を中心に機能の拡大を図っており、ロシア沿海州では99パーセントが日本車とのことでした。双方との協議では、中国国際貿易促進委員会延辺支会、ロシア沿海地方商工会議所とも大変意欲的で今後の経済交流、観光交流について互いの前向きな取り組みを行うことについて合意し特に今年秋、延辺支会が商談会とセミナーを秋田市で実施、来年秋に三つの商工団体が秋田市で一堂に会し、物流の活発化・荷物開拓・商談会など実践的な交流を行うことを検討するとして合意されました。今後とも注目し、随時情報を提供してまいります。



目次:

- ・中露物流調査・経済交流ミッション 1
- ・インドネシア・ベトナムミッション
- ・正副会長会議、理事 2
会、定時総会開催
・平成24年度
事業報告
- ・農水事業申請・ 3
平成25年度の事業実
施予定
- ・農水事業平成24年
- ・バンコク秋田フェア事 4
前商談会開催
・貿易実務講座開催
・ロシア語講座始まる



ザルビノ港

インドネシア・ベトナムミッション

経済発展が目覚ましいインドネシア・ベトナムを訪問し、当協会と秋田県、秋田銀行との共催で経済交流ミッションを5月11日から18日まで実施いたしました。インドネシアでは、佐竹知事を団長として総勢約50名の交流団員となり、ジャカルタ市内の日系百貨店を視察した後、日系企業や現地企業関係者を招いた秋田県PRセミナーを開催しました。また現地に進出している秋田県の企業を訪問し、進出の経緯や課題について話を聞くことができ、実際の作業現場の様子を見させていただくなど、現地の様子を窺い知ることができました。

次の訪問国ベトナムでは、昨年秋田県へ企業誘致で訪れたハノイ郊外のビンフック省を訪問し、現地の受け入れ態勢と省としての手厚い支援体制の説明を受けました。さらにハノイ郊外の日系商社が運営する工業団地を訪れ、受け入れ態勢や秋田県から進出する企業の工事現場の見学を行いました。十分に整備された工業団地や制度面での優遇策など魅力的な内容であり、参加者の事業展開にとって有意義なミッションとなりました。



正副会長会議、理事会、定時総会開催

平成25年度最初の正副会長会議、理事会を開催し、6月21日には定時総会が開催されました。平成24年度は尖閣問題による日中間の影響により一部事業の中止や延期を余儀なくされることもありましたが、台湾バイヤーの招聘事業により新たな繋がりができ、今後の事業展開に期待の持てる支援先を発掘することができました。

また、平成25年度の事業活動方針では、東日本大震災後に急激に増加した秋田港のコンテナ取扱量を更に増やすとともに、秋田港が「日本海拠点港」として指定されたことから今後港を活用した海外展開を関係機関とともに進めていくことを誓い合いました。

協会人事面では石井専務理事に替わり、新たに武田専務理事が選任されました。



6月21日 定時総会での様子

平成24年度事業報告

貿易拡大推進事業

・ソウル商談会（平成24年8月30日～9月1日）

建築博覧会視察ならびに韓国輸入業協会との懇親会の開催。博覧会視察によって韓国製品の最新情報を得るとともに、韓国輸入業協会との懇親会によって現地とのパイプを構築することができた。

・バンコク商談ミッション（平成24年10月7～13日）

現地行政機関、日系企業の視察、県人会との懇親会を開催。乾燥なまこ、稲庭うどん、日本酒など5件の取引が成立した。

・バンコク伊勢丹フェア（平成24年10月8日～17日）

バンコク伊勢丹を会場に、りんご、ぶどう、横手やきそばやその他加工食品54品目を出品。横手やきそばに次いで、かりんとうまんじゅうが好評を得、5日間で1,500個を完売した。さらにこのかりんとうまんじゅうと稲庭うどんが定番商品として(株)ダイショータイランドの販売ルートで取扱われることになった。

・バンコク伊勢丹北東北フェア（平成25年1月31日～2月13日）

現地輸入業者と伊勢丹の企画による開催で、青森・岩手との合同フェア。米、稲庭うどん、米菓など16品目を出品。かりんとうまんじゅう、おやき、わっぱ飯は実演販売も行った。10月の秋田フェアで完売したかりんとうまんじゅうはリピーター客もあって人気が高く、横手やきそばと並ぶメイン商品となった。また日本酒の輸入業者との商談の結果、25年度に日本食レストランを対象とした試飲会を開催することとなった。

バンコク北東北フェアでの様子



見本市等出展支援事業

・フードタイペイ2012出展支援（秋田市受託事業）（平成24年6月27日～30日）

台湾世界貿易センターを会場に6社から15品目を出品。

乾燥なまこは4社と成約し、稲庭うどんでは新規契約や途絶えていた企業との取引が復活したほか、日本酒においては新規ルートが開拓され、その輸入業者が開催する日本酒のPRイベントへの秋田ブース設置を打診されている。



フードタイペイ2012会場

農林水産事業へ申請

当協会では、県との連携のもと平成20年度から5ヶ年にわたり「農林水産物等輸出促進支援事業」（国事業）に取り組んできましたが、本年度は新たに始まる「農山漁村6次産業化対策事業（日本の食を広げるプロジェクト事業）」に国へ申請を行うことと致しました。原発事故に伴う風評被害も治まりつつあり、香港・台湾・シンガポールでの販売を実施する予定です。今年度これらの取組に全力投球する所存であります。県農産物の安全性をキャンペーンなどでPRし、昨年度以上の輸出数量拡大を図りたいと考えております。本年度は特に「産地PR・国内商談会」と「海外販売促進活動」の2つの事業メニューを申請しております。

「産地PR・国内商談会」においては、シンガポール（9月中旬頃）における食品のバイヤー招へいを計画し、「海外販売促進活動」ではシンガポールで秋田フェアを、香港・台湾では県産米・県産青果物等の販促キャンペーンを計画しています。シンガポールの伊勢丹秋田フェアでは、日本酒、県産農産物、加工食品を多数取り揃えて県産品をまるごと売り込むPRを展開します。香港・台湾の販促キャンペーンではこれまで実施してきた秋田県フェアやバイヤー招へいによる成果をもとに、輸出数量が期待できる品目について集中的に販促活動を実施し数量拡大を図りたいと思っております。会員の皆様には、本事業へのご理解とご協力をお願い致します。

平成24年度農林水産物等輸出拡大サポート事業報告

産地PR・国内商談会

香港バイヤー招聘

巡回先：JAあきた湖東、JAかづの、全農秋田県本部県南園芸センター

シンガポールバイヤー招聘

巡回先：樽見内営農組合、浅舞酒造株式会社

海外販売促進活動

秋田フェア

・シンガポール東北フェア

販売促進キャンペーン

・香港スーパーでの農産物販促活動
・香港スーパーでの県産米販促活動
・台湾シティスーパーでの販促活動



シンガポールバイヤー招聘



シンガポール東北フェア



香港スーパーでの販促活動

専務理事交代にあたって



当協会は平成16年に関係団体の皆様で大同団結して以来、世界経済が大変厳しい状況にある中で、来年は早、10年の節目を迎えます。古くから北東アジアの交流拠点であった、秋田県の地理的優位性はもとより、伝統文化と食、美しい自然環境、優れた産業、製品や人的パワーなど経済交流拠点として質の高い魅力のある本県にとって、東アジアとの経済交流の取り組みはより大きな発展可能性を有しております。こうした状況の中、私も微力ながら皆様とともに海外取引の活性化のため努力してまいりますので、今後ともどうぞよろしくご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。